

富士山憲章 ニュースレター

No113

2014
3

第11回
富士さんへ謹賀新年



～最優秀賞～



～審査員特別賞～

富士山憲章ニュース ...P1

北麓地域のゴミの現状 ...P2

More・モア富士山関連重要資産 ...P3

富士山レンジャー活動報告 ...P4

富士山レンジャーQ&A
富士山レンジャーギャラリー ...P5

イベント情報 ...P6

お知らせ

2月7日に発表された富士さんへ謹賀新年の最優秀賞作品(上1点)と審査員特別賞作品(下2点)です。

2月23日は
富士山の日

「富士山と冬のやまなしを満喫」キャンペーンに参加

平成26年1月22日、23日、24日に八王子駅コンコースにて開催された「富士山と冬のやまなしを満喫」キャンペーンに富士山ボランティアセンター職員も参加いたしました。

今回のキャンペーンは冬から早春にかけて山梨県への誘客を促進するために企画されたもので、山梨県、やまなし観光推進機構、山梨県内の各市町村等が冬の山梨をPRするパンフレットを配布しました。富士山ボランティアセンターでは、富士山憲章ニューズレターと富士山あての年賀状の募集チラシを用意して、八王子駅構内の通行者に配布いたしました。

通行中の方々は夏だけではなく山梨県の冬の観光についても関心が高いようで、自らの関心があるパンフレットを探していました。富士山北麓地域については、冬の富士山の撮影スポットやダイアモンド富士、温泉などに関する質問を多数受けました。

富士山ボランティアセンターは、富士山あて年賀状の募集も

かねて、昨年度の「富士さんへ謹賀新年」の展示を行ないました。富士山に向けられたメッセージや絵の面白さにしばし足をとめて見入っている方もいました。キャンペーンの途中からは、山梨県のゆるキャラが登場して、キャンペーンを盛り上げました。3日間にわたるキャンペーンも無事終了し、冬の山梨の魅力を伝えることができました。



「富士さんへ謹賀新年」の展示を見る通行客



パンフレットを配布する富士山ボランティア

第11回「富士さんへ謹賀新年」入賞者が決定

富士山ボランティアセンターが実施した富士山あて年賀状の募集で、全国から寄せられた1469通の応募作品の中から、最優秀賞1点、審査員特別賞2点、優秀賞12点が決定いたしました。

栄えある最優秀賞は埼玉県の山極尊子さんが受賞いたしました。また審査員特別賞は山梨県の井上大輔さん、末木優衣さんが受賞いたしました。

優秀賞12点は徳島県の杉本観月さん、山口県の國本大輝さん、山梨県の渡邊一輝さん、森響さん、斉藤かのんさん、森萌菜さん、山口真以さん、宮下未羽さん、新潟県の杉山しげ行さん、福岡県の花田衛さん、愛知県の岡田玲奈さん、東京都の古川稚佳子さ



武田菱丸をはじめとする山梨県のゆるキャラ

んが受賞いたしました。おめでとうございます。

最優秀作品と審査員特別賞作品について本ニューズレターの表紙に写真を掲載いたしました。

なお、入賞作品は富士山ボランティアセンターのホームページから見ることもできます。次のアドレスを参考にしてください。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/tanosimo/21nyusyo.html>

審査結果については、審査員長の櫻井孝美さんから全体の講評として次のようなコメントをいただきました。

「富士山が世界遺産に登録されたことによつて、関心が富士山そのものではなくて、世界遺産に向かった作品が多かった。純粋に富士山を対象にした年賀状がもつと有ればよかったと思う。」

最優秀賞作品については、「メッセージが自分の体感に基づいて表現されている。富士山を取り巻く世界の人間が笑顔で肩をくんで富士山を囲んでいる。ほのぼのする風景、情景が描かれており、富士山と水、色彩的にも心地よい絵になっている」とのコメントをいただきました。

富士さんへ謹賀新年の入選作品200点に関しては、富士山北麓地域を中心に山梨県内で巡回展示いたします。詳しくは、6ページをご覧ください。

北麓地域の ゴミの現状



富士山レンジャーは、不法投棄の監視、発見、拡大防止のためにパトロールをしています。富士山というと、ゴミが多いイメージを持つている人がいるかもしれませんが、しかし、行政やNPO、ボランティアなどにより、多くの取り組みが実施されていることから、ゴミは減少傾向にあります。それでも、平成25年度2月までに富士山レンジャーが発見した不法投棄は71件で、依然として多くの不法投棄をパトロール中に発見しているのが現実です。



不法投棄された家電製品

最近の不法投棄の傾向

不法投棄のパトロールをしていても、最近は大規模な産業廃棄物などの不法投棄を発見することはほとんどありません。家庭から出たと思われるテレビや冷蔵庫などの家電製品やタイヤなど、処分するのにお金がかかる小規模な不法投棄物が発見されます。

ただ、捨てられているのは、こういったものだけではありません。なかには自治体指定のゴミ袋に入れてある家庭ゴミが不法投棄されていることもあります。

また、こういった小規模な不法投棄は、森の奥に隠すように捨てられているのではなく、道路脇に置かれていることがほとんどです。車通りの少ない、峠道や林道が捨てられやすいポイントといえます。そういった場所を重点的にパトロールするようにしています。



道路脇に捨てられたテレビ

発見した不法投棄はどうする？

富士山レンジャーは、不法投棄を発見したら、県や市町村に場所や規模などを報告します。発見したゴミをその場で回収することはしません。不法投棄の撤去は、捨てた本人が行うのが原則だからです。しかし捨てた人を特定できなかったり、できたとしても大規模な場合は資力がいないなど、撤去が難しいことが多いのが現状です。

小規模な不法投棄の場合は、不法投棄の拡大防止の観点から市町村やNPOなどが行う清掃活動によって撤去されています。しかし、産業廃棄物は、処理費用がかかるため今までNPOなどの清掃活動による撤去が困難でした。長年放置されてきた産業廃棄物を撤去するために、行政とNPOが協働して富士山クリーンアップ事業が行われました。これにより、これまでに3000本を越えるタイヤや、100tもの建築廃材が撤去されました。

不法投棄の撤去が進んで、富士山はきれいになっていますが、一度捨てられたゴミを片づけるには莫大な時間と労力がかかってしまいます。例えば、富士山クリーンアップ事業でタイヤ撤去の際は、何年も放置されていたため、タイヤの内側に泥がたまっていました。回収する前に、この泥を一本一本かきだしました。タイヤの輪の中から木が生えてきてしまい、タイヤ

を回収するために木を切らなくてはならなくなったりもありました（タイヤの中には泥が溜まっていたので、タイヤを切ることはできませんでした）。大量のゴミが捨てられた場所がもとの自然に戻るには、さらに時間が必要でしょう。

不法投棄が自然に悪影響を与えることを目の当たりにし、監視パトロールの強化など、捨てさせない環境をつくることの重要性を実感しています。



タイヤの撤去作業

※廃棄物の処理及び清浄に関する法律に基づき、不法投棄を行った者には、最大5年以下の懲役または1千万円以下の罰金が課されます。

御坂峠（鎌倉往還「御坂路」） ・御坂城の展望地

【展望地・眺望の場】



御坂（みさか）峠は、甲府盆地と駿河を結ぶ道のひとつである鎌倉往還（御坂路）が御坂山地を超える場所にある標高1520mの峠です。

御坂山系の最高峰である「黒岳」の経由地なので、行ったことがある方も多いと思いますが、休業している茶屋があるだけで、そのまま通過される方が多いのではないのでしょうか。

北条氏が築いたといわれている御坂城の跡地で、今でも空堀など当時の名残を見ることが出来ます。

峠からは、富士山が樹々のすき間から顔を見かてています。



北側から御坂峠を望む
目の前に茶屋（休業中）が見える

歌川広重の富士三十六景「甲斐御坂越」には、河口湖越しの富士山が描かれています。今は中腹より上しか見えませんが、往来が盛んだった昔は浮世絵に描かれているように、もつと眺望が良かったのかと当時の様子を想像したりします。



御坂峠より。樹々のすき間から富士山を望む

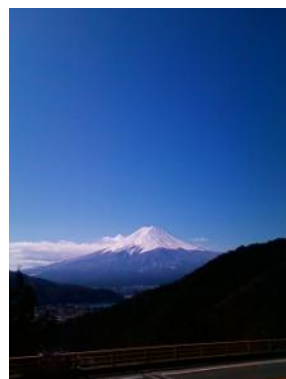
お出かけの際は、トレッキングができる装備をお願いします。

【アクセス】

- 天下茶屋から御坂山を経由して御坂峠往復。約3時間5分
- 御坂トンネル（河口湖側）より往復。約2時間20分（駐車スペース有）
- 笛吹市御坂町藤野木から御坂峠を経由して御坂トンネル（河口湖側）に降りる。約2時間45分



カシミール使用 赤線は天下茶屋～御坂峠間のGPS軌跡



展望台より

「トレッキングはちよと・・・」という方は、河口湖～笛吹市を結ぶ国道137号線沿いにある展望台から富士山の眺望を楽しむことができます。

「More・モア 富士山関連重要資産」とは…？

世界遺産『富士山』の構成資産は全部で25件。しかしこの25件に確定するまでに、たくさんの候補が選定され検討されてきました。

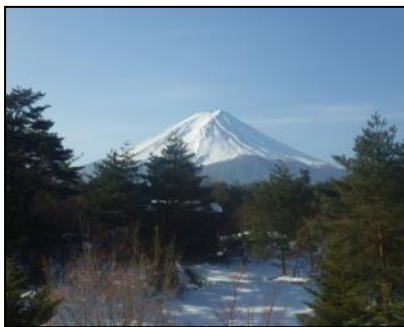
このコーナーでは構成資産にはならなかったものの、富士山を深く知るために重要な文化財や天然記念物などを紹介しています。

参考・引用文献
「富士山を知る旅」富士山世界文化遺産登録推進両県合同会議
2009年3月発行

富士山レンジャー 活動報告

2013年11月
～2014年2月

熱狂的な富士登山シーズンを終え、富士山の休息期間でもあるオフシーズンがやってきました。登山期間が終了し、雪に閉ざされた富士山の五合目以上のエリアには巡回に行くこともなくなり、青木ヶ原や北麓エリアの巡回をメインに活動しています。季節の変わり目に増える不法投棄の監視や巡回にも力を入れています。冬季も美しい富士山の自然を守る為に一生懸命活動していきます。



2月14日の大雪でさらに真っ白になった富士山

山静神不法投棄防止 キャンペーン

11月13日、山梨県、静岡県、神奈川県合同で不法投棄防止キャンペーンを河口湖にて行いました。ゴミは減ってきてはいるものの、森の中にひっそりと捨てられている新しいゴミをまだまだ沢山発見しました。最近の傾向として、家庭から出る個人の家電や粗大ごみ、車1台分(4本のタイヤ、野菜や花、生ごみなど)が多く捨てられています。一人暮らしの方の物と思われる部屋の雑貨類がどつさり谷に投げ込まれていることもあります。森はゴミ箱ではありません。観光に来ている人達をがっかりさせる景観は作りたくありません。



左から神奈川のしずくちゃん、静岡のふじびー、山梨の武田菱丸

山静神不法投棄防止キャンペーン河口湖畔にて

富士山クリーンアップ事業

12月7日に富士山クラブ主催の富士山クリーンアップ事業があり、富士山レンジャーも清掃活動に参加してきました。

場所は鳴沢村にある大量の不法投棄が見つかった現場。建築廃材や、コンクリート片、鉄くずなど、解体等で出た事業者のゴミが山の様に捨てられていた現場です。何回も作業を繰り返してやつときれいになってきました。最近はこの様な大規模な不法投棄は減少していますが、まだ見つからない場所もあるのでと懸念しています。早くゴミのない富士山にしたいものです。



現場にまだ残っている不法投棄されたゴミ。色々な物が混ざっているので分別をして拾う。

小学校にてレンジャー写真展

小学校での写真展は、環境教育支援プログラムの一環で行っています。以前は都留市や身延町で行いました。中央市一回目の展示校、田富北小学校の校長先生は富士山レンジャー発足時、山梨県環境科学研究所の教育部門に在席中で、今行っている環境教育プログラム開発に携わってくださった方です。2、3月に中央市の小学校を巡回展示します。北麓地域以外の子供達にも富士山の自然環境や問題を知り、興味を持ってもらえたら嬉しいです。



富士山レンジャーQ&A

Q1☆富士山レンジャーに会いたいけど、どうすれば会えるの？

A1☆ありがとう。富士山レンジャーは富士河口湖町にある「富士ビジターセンター」に事務所があるので、そこで仕事をしているよ。だけど、巡回の業務で、青木ヶ原樹海を歩いたり、富士山の麓を車でパトロールしたり、不在のことが多いんだ。

そこでおすすめなのが、レンジャーを予約すること！予約つてどういうこと・・・？

実は富士山レンジャーは学校、企業、一般団体などを対象に「環境学習会」を開催しているんだ。富士山の自然、環境、レンジャーの活動など、いろんなプログラムを用意して待っているよ。しかも山梨県内ならどこでも無料で出張講座ができるんだ。ほかに、富士ビジターセンターの自然観察園を歩いて、自然解説をするプログラムもあるんだよ。ちよつと興味がでてきたかな？

あとは、ぼつたり樹海の森の中で、きみに会うことができたなら、それはまたうれしいことだな。偶然な出会いも楽しみにしているよ！

でも、レンジャーに注意されるような行動には気を付けてね！

Q2☆えつーレンジャーに注意されるような行動つて、どういうこと？

A2☆突然でびつくりさせちゃったかな？ごめんね。

たとえば、富士山レンジャーがパトロールしている森の代表「青木ヶ原樹海」では、みんなが森を楽しむために、してはいけないことが決まっているんだよ。自然を大切に守りながら、未永く森を楽しむための決まりなんだ。

たき火をしたり、虫をとつたり、自転車に乗つたり、道じゃないところを歩いたり、普通の森やキャンプ場でできることが、できない決まりになっているんだよ。マナーを守つて自然を楽しむことが、自然を守ることにつながるんだ。

富士山レンジャーの大切な仕事のひとつは、この決まりがあるつていうことを、みんなに知らせることなんだ。なぜそんな決まりがあるのかつていう理由を知つてもらつて、そして森の中で楽しんでもらうことができればいいと思つているよ。

それじゃあまた、みんなの質問、待つてるよ！



環境学習会の様子



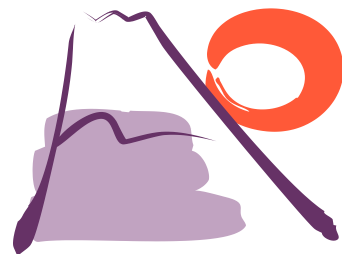
1月下旬の山中湖の結氷。
この数日後にわかさぎの穴釣りが解禁されたよ



山中湖のこぶ白鳥。人懐っこくて、
かわいいね

富士山レンジャー
ギャラリ―

第11回 富士さんへ謹賀新年 入賞者発表



富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境保全に向けた関心や意識を高め、美しい富士山を将来にわたって、守り引き継いでいくことを決意した「富士山憲章」の理念を広めるため、富士山の日(2月23日)の関連イベントとして富士山にあてた年賀状を全国から募集しました。

その結果、45都道府県から、1469点の力作をお寄せいただき、ご応募いただいた作品から厳正な審査の結果、最優秀作品1点、審査員特別賞2点、優秀賞12点を含めた入選200点を決定いたしました。

入選作品展示場所及び期間

以下の日程で、富士山北麓地域等、計11箇所が入選作品200点を巡回展示します。

平成26年

3月18日(火)まで

3月19日(水)～4月 2日(水)

4月 3日(木)～4月13日(日)

4月14日(月)～4月27日(日)

4月28日(月)～5月18日(日)

5月19日(月)～6月 1日(日)

6月 2日(月)～6月15日(日)

6月16日(月)～7月 2日(水)

7月 3日(木)～7月31日(木)

小池邦夫絵手紙美術館 (忍野村)

山梨県立博物館 (笛吹市)

道の駅なるさわ (鳴沢村)

身延町なかとみ和紙の里 (身延町)

河口湖ショッピングセンターベル (富士河口湖町)

山中湖花の都公園 (山中湖村)

三ッ峠グリーンセンター (西桂町)

談合坂サービスエリア (上り) (上野原市)

山梨県立 富士ビジターセンター (富士河口湖町)

富士山レンジャー写真展 2013

3月12日(水)～3月23日(日) イオンモール甲府昭和 3階 GU前

中巨摩郡昭和町 常永土地区画整理地内 1 街区

3月26日(木)～4月25日(金) 富士河口湖町役場 1階エントランス町民ギャラリー

南都留郡富士河口湖町船津1700番地

富士山北麓地域の環境保全業務を行っている『山梨県富士山レンジャー』が、業務中に撮影した記録写真と活動内容をパネルで紹介。巡回中に遭遇した風景や、目をそむけたくないような問題などを独自の視点で紹介します。ぜひ、この機会にご覧下さい。

問い合わせ: 富士山ボランティアセンター TEL0555-20-9229



お知らせ

○富士山環境学習支援プログラムのお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、多くの人が富士山とふれ合い、知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とし、富士山学習の支援事業を実施しております。交通費や謝礼等は一切必要ありません。企業における各種研修、CSR推進に是非御活用ください。

実施日:原則として平日の毎日(年末年始を除く)

実施時間:

九時三十分～十六時三十分
の時間帯の中の三十分間、

受講料:無料

対象地域住民・各種団体・企業等
児童・生徒・学生教員向け研修もあり

定員六十名まで

※業務の都合により実施不可日があります。

※実施時間・定員に関しては規定外でも応相談します。

申込:原則として1か月前までに申込みを行ってください。

所定の申込書に必要事項を記入の上、FAX(郵送)・Eメールにて送付してください。

詳細は下記をご覧ください。申込書については下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/manabo/manabo001/index.html>

その他事前の打ち合わせ・下見等が

必要になる場合があります。申込み・打ち合わせは受講される団体の責任者が行ってください。旅行業者等による代行は認めません。

問い合わせ:

富士山ボランティアセンター

電話 〇五五五二〇九三二九

FAX 〇五五五七二四二一四

○富士山世界文化遺産出前講座のお知らせ

山梨の誇り・日本の象徴『富士山』を『世界の宝』として、未来へ伝えていくため、次のとおり出前講座(山梨県内のみ)を企画しております。

受講料:無料

講座内容:

児童・生徒向け

「世界遺産つてなに?」

「富士山の自然と文化つてなにがあるの?」

「どうすれば世界遺産になれるの?」……など

地域住民・団体・企業むけ

「世界遺産とは?」

「世界遺産の課題」

「富士山の世界文化遺産への取り組み」

「推薦する文化的価値とは?」……など

その他上記環境学習プログラムとセット

にしてお申込みしていただくことも可能です。

問い合わせ:

山梨県知事政策局富士山保全推進課

富士山北麓分室

電話 〇五五五七二四二二一

問い合わせ:

山梨県知事政策局富士山保全推進課

富士山北麓分室

電話 〇五五五七二四二二一

○富士山環境保全募金募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、富士山の環境を保全していくために、皆様からの寄付金を受け付けております。

皆様から寄せられた募金は、富士山環境保全の費用として大切に活用させていただきます。

法: 寄付金を入れる募金箱は、次の場所に設置されています。

募金箱設置場所:

富士山ボランティアセンター

河口湖観光案内所

山梨県立環境科学研究所

道の駅「なるさわ」

道の駅「しもべ」

ふじやまビール

道の駅「ふじよしだ」

山梨県立富士湧水の里水族館

山中湖平野温泉石割の湯

山中湖役場

山中湖温泉 紅富士の湯

山中湖 花の都公園

山中湖 花の都公園

富士山五合目総合管理センター

※一万円以上の金額を提供いただいた方(団体)には、感謝状を贈呈させていただきます。

ですので、その際には直接富士山

ボランティアセンターにご連絡くださる

ようお願いいたします。

問い合わせ:

富士山ボランティアセンター

電話 〇五五五二〇九三二九

FAX 〇五五五七二四二一四

※富士山関連イベント情報は、毎月15日にメルマガを発行してお知らせいたします。メルマガ配信は下記HPまで。

富士山憲章(行動規範)

- 一、富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一、富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一、富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一、富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一、富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成10年11月18日 山梨県・静岡県

富士山憲章は、富士山の自然環境の保全の理念や行動規範を示し、環境保全の実践活動と呼びかけ、国民的な規模で、運動の展開を図っていくことを目的としています。

富士山ボランティアセンター

(山梨県観光資源課富士山分室)

TEL: 0555-20-9229

FAX: 0555-72-4114

山梨県富士河口湖町船津剣丸尾6663-1

e-mail: fujisan@eps4.comlimk.ne.jp

本誌のバックナンバーについては、下記よりダウンロードできます。

<http://www.yamanashi-kankou.jp/volunteer/newsletter/index.html>

富士山環境保全メルマガの配信を希望する方は

「富士の国やまなし観光ネット 富士の国やまなしメルマガジン」

会員登録画面

(<http://www.yamanashi-kankou.jp/mailmagazine/regist.html>)

より会員登録してください。

富士山ボランティアセンターは、富士山の環境保全活動を推進するための活動拠点であり、富士山憲章山梨県推進会議(地元7市町村・恩賜県有財産保護組合及び山梨県から構成される)によって運営されています。